



特集

— 地域を支える力～剣淵北斗会のこれから～（未来編）—

広報8月号では、剣淵北斗会の行っている活動や抱えている課題について掲載しました。

9月号では、剣淵北斗会の今後の活動について取材をしました。掲載するにあたり、平川総合施設長、法人事務局の井淵さん、大熊さんにお話を伺いました。



剣淵北斗会
法人事務局 井淵 俊雄さん



剣淵北斗会
総合施設長 平川 寛さん



剣淵北斗会
法人事務局 大熊 由佳さん

剣淵北斗会のこれからの活動について

平川さん…剣淵北斗会として、西原学園や北の杜舎、ひらなみ荘などの運営はもちろんですが、地域に開かれた福祉施設にしていくことを方針に運営しているため、今後も地域行事への参加を通じて町民の皆さんと交流していきたいです。

また、町の基幹相談支援センターの役割を担っている「地域交流館てとて」

て」「ひらなみ荘」の地域活動をより一層進めていきたいです。

地域交流館てとての現状について

大熊さん…「地域交流館てとて」では、基幹相談支援センターと地域相談支援事業の2種類の相談を受けています。件数で年間約800件の相談を受けています。

どのような相談が多いですか？

大熊さん…グループホームへの入所相談やホームヘルプサービスの利用相談など福祉サービスの利用に関する相談や経済面での相談、生活に関することなど多岐にわたっています。相談内容は、健康福祉課とも共有し、連携が取れるようになっています。



▲地域交流館てとて

地域交流館としてのこれからについて

今後どのような活動を

行っていきたいですか？

大熊さん…基幹相談支援センターは、障がい者やその家族の困っていることをお聞きする中核的役割を担う重要な機関ですが、まだまだ認知がされにくいのが現状だと思います。そのため、①障がい者福祉に関する取組の周知②関係機関との一層の連携の強化と新たなネットワーク構築③とての一般利用の再開と社会貢献活動をしていきたいです。

①障がい者福祉に関する取組の周知

大熊さん…まずは、障がい者福祉に関する取組を知ってもらうために基幹相談支援センター主催で毎年テーマを変えながら障がい者福祉の理解が深まる研修会を行いたいです。

②関係機関との一層の連携の強化と

新たなネットワークの構築

大熊さん…委託相談支援事業を10年以上にわたって健康福祉課と情報を共有し、町民の方を支援してきました。現在は、社会福祉協議会や教育委員会、学校の先生方など町内外の機関とつながることが多くなってきてい

ます。新たなつながりを持つことはとても良いことだと思うので、これからも新たなネットワークづくりを進めていきたいです。

②とての一般利用の再開と

社会貢献活動

大熊さん…コロナが流行する前は、町内のサークルなど一般利用の受け入れもしていましたが、コロナが流行してからは1団体の一般利用のみとなっています。コロナも5類に移行されたので、少しずつ一般利用の受け入れも行えたらと思っていますので事前に相談してください。地域活動支援センターの利用登録している方々も交流していただけたらと思います。

ひらなみ荘のこれからについて

行っていきたいですか？

①お祭りの再開について

井渚さん…以前は、地域の方々に触れ合っていたけど、コロナが流行してからは行っていませんでした。現在、施設内では、今年度から夏祭りを行いました。以前行っていたようなお祭りは、開催

方法や趣旨などを考えたうえで開催を検討していきたいと思っています。

②地域交流の場を復活

井渚さん…以前は行っていた保育所園児との交流を今年度から復活します。これからも地域のこともたちと交流をできたらと思います。

③福祉に興味を持ってもらえるような取組

井渚さん…地域に根ざした施設にということもあり、職業体験や実習等を通じて学生の方々に福祉に興味を持ってもらえるような取組を行っていきたいと思っています。小学校・中学校・高校と連携していきたいと考えています。

④剣淵町に残るといふ選択肢を

井渚さん…住民で介護に困っている方がいても、町内ではなく旭川など町外の介護施設へ相談される現状があります。今年度から手続きを行う事務員を1名から3名に増やし、体制を整備しました。これからも継続的に介護サービスを提供できるように運営していきますので、ひらなみ荘のことを知っていただき、剣淵町に残るといふ選択をしていただきたいです。

剣淵北斗会の未来について

平川さん…剣淵北斗会は剣淵町の皆さんとつくってきた法人です。「地域に根ざした福祉」を掲げて町民に安心していただけるような福祉施設の運営をしています。

社会資源の1つとして、誰でも立ち寄ってもらえる雰囲気を作りたいです。

何かあったら、町内にある基幹相談支援センター「地域交流館とて」にお気軽に相談してほしいです。

老人介護については、町内に残る選択肢として「ひらなみ荘」があるということをお達し法人もいろいろ情報を発信していきます。皆様を選んでいただけるような施設づくりをしていきます。

これからも、地域の皆さんと一緒に温かい・優しいまちづくりに取り組んでいきます。

最後に

7月号から剣淵北斗会の成り立ちや行っている活動と課題、これからについてを3号連載で紹介しました。取材にご協力いただきました剣淵北斗会の皆様ありがとうございました。